

# わが家の 地震対策

保存版



滋賀県



# 地震だ！ そのときどうする

その瞬間、  
どうしたか

## 阪神・淡路大震災

そのとき、どうしたか



●台所に立っていたら、冷蔵庫が倒れてきたので、手で支えたまま動けない状態になってしまい、大声で助けを呼んだ。  
●子供が横に寝ていたので、頭の近くにあったタンスが倒れてくると思い、子供の上におおいかぶさった。

●ベッドの中に入って、ふとんをかぶった。揺れているあいだは何もできなかった。

●ふとんにもぐって頭を守った。子供が別室で騒いでいたので、ふとんにもぐりなさいと叫んだ。  
●熟睡していたので、何が起きたのかわかりませんでした。灯りをつけようとしたのですが、懐中電灯もろうそくも、ライターも見つかりませんでした。

●外へ通じるドアが開かなかったので、窓を開け、近所の人が出てくるのを待って声をかけ、外からガス栓を止めてもらった。

●ガラスの破片が部屋中に散乱していたし、暗かったので明るくなるまで少し待ち、それから靴と懐中電灯を探して、部屋の様子を見た。

●家族が心配で、大声で家族の名前を呼んで、無事の確認をした。

●子供とタンスの下敷きになっていたため、主人と次男に助け出してもらい、揺り返しがくると思い、すぐ靴をはき玄関で待機した。

揺れがおさまったとき

●家の中の重いタンスが、ほとんど飛び出して倒れていました。テレビも台の上から落ち、ガラス戸も割れていました。

●食器棚が倒れて、食器が散乱。冷蔵庫の中の物も落ちていて、床は歩けない状況でした。また、ピアノが壁を破って前に移動していました。

●居間のサイドボードやテレビなどが全部倒れて、ガラスの部分が全部割れ、部屋中ガラスの破片だらけでした。

●ガス管が外れ、すごいガスの臭いがしました。水道の配水管も壊れていました。

●コンビネーションの家具がバラバラになり飛んだ。リビングの照明も落ちていた。

地震で家の中はこうなった